

米奥小だより

令和7年2月20日（木）

No.45

米奥小学校 校長 北添 忠

○特活参観日

2月15日（土）の1校時は特活参観日でした。四万十町では、学校教育の中心に「特別活動」を置き、児童生徒自身が話し合いをして、課題を解決する教育を推進しています。この取り組みは、国語や算数など教科の授業にもつながるもので、話し合っ、考えて、課題を解決することを授業の中で行っています。この日の全校特活では「今年度に、みんなでする活動を決める」と「地域への要望」について意見を出し合いました。最終的に一つの案にまとめるところまではたどり着きませんでした。全員が意見を発表し、他の児童の意見も聞いて考えることはできていました。話し合いの結果、子どもたちが出す答えが楽しみです。



○山と川の学習

2月15日（土）の2校時から、山と川の学習と午後にはほのぼの作品展・バザーが行われました。今回は、午前中に行われた学校林での活動を取り上げます。

山に行く前に、まず、焼き芋の準備を行いました。学校で育てたサツマイモを新聞紙でくるみ、湿らせてからアルミホイルをまき、焚火の中に入れました。山から帰ってきた頃には、甘くておいしい焼き芋ができています。

中津川の学校林では、10年くらい前に植樹した木の手入れを行いました。木には鹿よけネットや支柱が残っており、それらをカッターで切ったりして取り除いていきました。それらを集めるとけっこうな量となり、みんなで手





分けして持ち帰ることにしました。その後、学校林で大きく成長し、植樹した木の邪魔になっていた大きな杉2本を、学校運営協議会や保護者の方々が伐採する様子を見学しました。見学している児童らの方向には絶対に倒れな

いようにワイヤーロープで倒す方向に力を加え、チェーンソーで伐りました。豪快に倒れる様子は迫力がありました。山で働く人の仕事の一端を見ることができました。

